

活動 ③氷ができない！なぜだろう？

上手くいかない氷作りの原因をみんなで話し合ったり、調べてみたりする。

準備したもの 絵本、図鑑

○活動内容

上手くいかない氷作りの実験についてみんなで意見を出しあいながら考えてみる。また、絵本や図鑑を使って原因を調べてみる。

○保育者の問いかけやアプローチ

色々な子から氷が出来ない報告があったため、みんなで考えてみようかと提案する。また、絵本や図鑑を用意し、子どもが自然と調べてみようと思える環境作りをしていく。

○子どもの様子

氷の実験を始めてから、毎日氷が出来ているか確認する子ども達。なかなか凍らないため落ち込んでいる子どももいた為、一度クラスで話し合ってみようかと提案した。なんでだろう？と問いかけると、「もっと時間が必要なんだよ」と時間の長さについて意見を出す子や、「もっと寒くならないと凍らないのかもしれないよ」と気温について気づく子など様々だった。そこでもう少し寒くなるまで引き続き観察を続けようということとなった。氷に関連する本を用意すると、率先して本を読み、「こんなに大きな氷が出来るところはここよりすごく寒いはずだから、やっぱりもっと寒くなるのを待った方が良いね」と友だちと意見を交換する様子が見られていた。また、氷の結晶の写真があることに気付くと、「氷ってこんな形なんだね！氷ができたなら見てみようよ！」と、氷が出来た後の楽しみにも繋がっていた。



振り返り

氷が出来るには時間や気温が関係していることに気付く子どもたちに驚いた。本を取り入れたことで、さらに氷が出来ることへの期待感が強まり、観察を楽しんでいた。気温に気付いた子がいたので、気温グラフを作る等天気予報などについて触れ、子ども自身が家でも調べたり気付いたりできるきっかけを作れたらよかった。